株式会社ジェイコム東京 大田局

放送番組審議会 議事録

令和3年度 株式会社ジェイコム東京大田局 放送番組審議会は、2022年3月3日(木)に大田区産業プラザPiO 6階D会議室にて開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

千葉 茂 様 桑田 健秀 様 山口 克己 様 小山 君子 様

ご欠席

山浦 賢一 様

放送番組審議会の会長の選出

会長 千葉 茂 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告

【質疑応答・意見交換】 進行:千葉会長

■区内スポーツ大会、スポーツ団体の取り上げ方について

委員

東京2020大会で女子バスケットボールがアジアで初めて銀メダルを獲得。大田区がホームタウンの東京羽田ヴィッキーズの本橋選手の活躍により、区民のバスケットボールに対する関心が高まっている。「つながるニュース」で、東京2020大会での本橋選手の活躍や東京羽田ヴィッキーズ、アースフレンズ東京Zの活躍を紹介しているが、トップリーグのチームだけでなく、小中学生などのスポーツ少年団の活動をはじめ、様々なスポーツ、年代の競技を取り上げてほしい。スポーツ振興を絡めた地域活性化に J:COM にも番組取材などを通して協力してほしい。

事業者

東京羽田ヴィッキーズやアースフレンズ東京Zと引き続き取材などを通して連携し、「バスケットボールの街おおた」として地域の活性化に貢献していきたい。

また、地域のスポーツ振興のため、バスケットボールだけでなく、様々なスポーツを取り上げていきたい。

■地域イベントの取材、新番組「ふくあじ」の紹介店舗について

委員

「蒲田元気まつり」など視聴したが、地域イベントなどを取材していただくと主催する側も嬉しいし励みになる。また、新番組の「ふくあじ」は高齢者も食べてみたい料理を取り上げているところに好感を持った。グルメ番組という若者向けの料理を取り上げがちだが、年齢を重ねた人もお店に行ってみてほしいと思わせてくれる「和食」もしっかり紹介してほしい。

事業者

地域イベントについて、引き続き取材していきたい。

新番組「ふくあじ」の取材店舗は、昔から地域にあるおふくろの味を思わせるような料理というところもコンセプトになっているので高齢の方にも楽しんでいただけたらと思う。大田の街の飲食店と素晴らしい料理を紹介していきたい。

■消防署の啓発イベントや広報活動の取材について

委員

日頃から「春の火災予防運動」「秋の火災予防運動」など消防の啓発イベントの取材、消防団や消防署からのお知らせなど広報活動に協力いただきありがたい。

町内会や消防団の防災訓練を取材していただくと団員などの励みになり、地域の防災力が高まるので、今後も引き続き取材してほしい。

事業者

J:COMのコミュニティチャンネルの放送指針として、災害時における地域の生命・財産を守るための情報のほか、平常時から、住宅火災や台風、地震から身を守る防災、犯罪に巻き込まれないための防犯情報などを発信することで「地域の安心安全」に寄与することがある。

今年度は東京2020大会があったということで、蒲田駅をはじめ交通機関の防犯訓練も取材し放送した。今後も地域の消防や警察などと連携しながら、安心安全に関する情報発信に取り組んでいきたい。

■コロナ禍の商店街や地元企業の取材、新企画案について

委員

テイクアウト情報は、コロナ禍で苦しむ飲食店を応援する良い取り組み。コロナ禍においては、地域情報を発信するJ:COMのような地域メディアの必要性が高まっている。オンラインを活用したインタビュー企画など時代に即した取り組みで良いと思った。オンラインで作品を発表する機会を創出するのも良いし、「現在の川瀬巴水を探せ！」のような若い才能を発掘するアート振興の取り組みをしたら面白いのではないかな。

事業者

今年度、ジェイコム東京は城南信用金庫などをはじめとする全国の信用金庫で構成する「よい仕事おこしネットワーク」と包括連携協定を結んだ。

今後もコロナ禍で困っている商店街や地元企業を取材することで、広報支援していきたい。

「現在の川瀬巴水を…」といった企画も、区内の関係各所と連携して実施できるようぜひ検討したい。